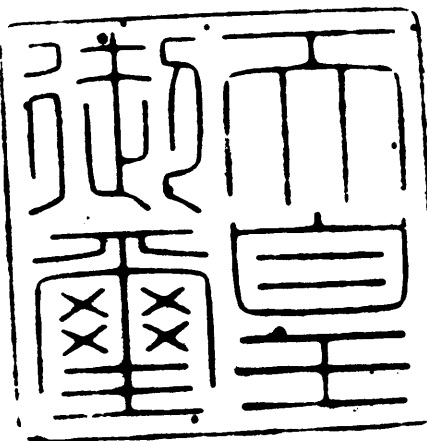


條約第八號

朕樞密顧問ヲ諮詢シ經テ昭和十六年五月九日東京ニ於テ帝國全權
委員カフランス國全權委員ト共ニ署名調印シタル保障及政治的了解
ニ關スル日本國フランス國間議定書ヲ批准シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



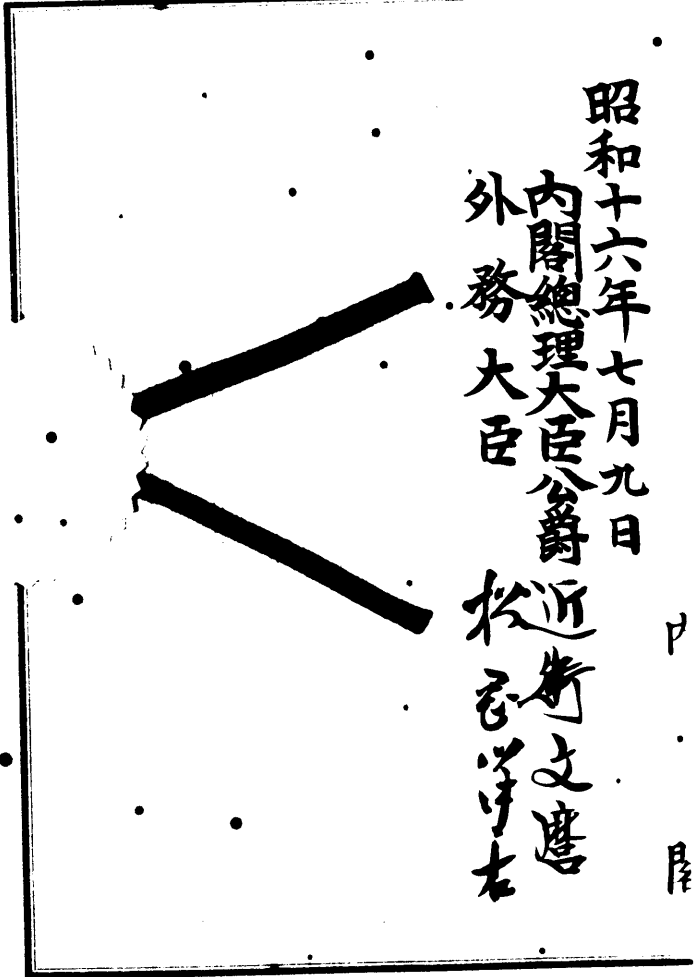
日

月

昭和十六年七月九日

内閣總理大臣公爵近衛文麿
外務大臣 松本洋右

ト
尾



條約第八號

保障及政治的了解ニ關スル日本國「フランス」國間議定書

大日本帝國政府及「フランス」國政府ハ
 東亞ニ於ケル平和ノ維持ヲ均シク希望シ
 昭和十五年八月三十日往復セラレタル文書ニ依リ實現セラレタル合意ヲ成立セシムルニ至リタル平和
 的且友好的精神ヲ想起シ且右精神ヲ堅持スルノ眞摯ナル希望ニ均シク促テレ
 「フランス」國「タイ」國間ニ恢復セラレタル友誼關係ノ安定ヲ確保センコトヲ希望シ
 左ノ通協定セリ

一 日本國政府ハ日本國政府ノ關係ノ結果千九百四十一年五月九日ノ「フランス」國「タイ」國間平
 和條約及附屬文書ニ具現セラレタル「フランス」國「タイ」國間紛争ノ解決ガ決定的ニシテ且變更
 無クアルモノナルコトヲ「フランス」國政府ニ對シテ保障ス

二 「フランス」國政府ハ前記日本國政府ノ保障ヲ受諾ス「フランス」國政府ハ東亞ニ於ケル平和ノ維
 持特ニ日本國對印度支那間ニ於ケル善隣友好關係ノ樹立及經濟的緊密關係ノ増進ニ努ムベシ
 尙「フランス」國政府ハ日本國ニ對シテ直接又ハ間接ニ對抗スルガ如キ性質ノ政治上、經濟上又ハ軍
 事上ノ協力ヲ豫見スル何等ノ協定又ハ了解ヲモ他領印度支那ニ關シ第三國ト締結スルノ意思ナキコ

トツ宣書ス

三 本議定書ハ批准セラルベク批准書ハ署名ノ日ヨリ二月以内ニ東京ニ於テ交換セラルベシ「フランス」
「フランス」ニ於テ批准書ヲ以テ其ノ批准書ニ代フルコトヲ得此ノ場合ニハ
「フランス」ニ於テ批准書ヲ日本國政府ニ送付スベシ
本議定書ハ批准書交換ノ日ヨリ實施セラルベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本議定書ニ署名捺印セリ

昭和十六年五月九日即チ千九百四十一年五月九日東京ニ於テ日本文及「フランス」文ヲ以テ本書ニ通
ヲ作成ス

松 岡 洋 右 (印)
松 宮 順 (印)
シャルル・アルセーヌ・アンリ (印)
ルネ・ロバン (印)

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝ヲ継グノル

大日本帝國天皇 (御名) 此ノ書ヲ見ル有衆ニ宣示ス

昭和十六年五月九日東京ニ於テ帝國全權委員ガ「フランス」國
全權委員ト共ニ署名捺印シタル保障及政治的瞭解ニ關スル日本國
「フランス」國間議定書ヲ囑言點檢シ之ヲ嘉納批准ス

神武天皇即位紀元二千六百一年昭和十六年七月四日東京宮城ニ於
テ親ラ名ヲ署シ單ヲ鈐セシム

御 名 國 章

外務大臣 松 岡 洋 右

内 閣